



●共通テスト以降のスケジュール

2024年 1/13(土)～1/14(日)
大学入学共通テスト

試験日	出題教科・科目	試験時間
1/13 (土)	地理歴史 公民	2科目選択 9:30～11:40 1科目選択 10:40～11:40
	国語	13:00～14:20
	外国語	【リーディング】 15:10～16:30 【リスニング】 『英語』のみ 17:10～18:10
1/14 (日)	理科①	9:30～10:30
	数学①	11:20～12:30
	数学②	13:50～14:50
	理科②	2科目選択 15:40～17:50 1科目選択 16:50～17:50

1/13(土)～1/14(日) 正解等の発表

1/15(月) 自己採点

1/17(水) 予定 平均点等の中間発表

面談などで出願校を検討

1/22(月)～2/2(金) 国公立大出願

2/5(月) 予定 平均点等の最終発表

共通テストまであと1か月程となりました。これからは学習面の対策も必要ですが、試験本番に向けての「心構え」も大切になってくる時期です。生徒には以下のポイントを押さえてもらい、共通テストに臨んでほしいと思います。

試験当日の過ごし方を考えておこう

共通テスト当日は、試験開始までの待ち時間の過ごし方も大切なポイントです。参考書やノートなどで最終チェックをする、リラックスして待つなど、どんなふうにご過ごせば自分の実力が最も発揮できるのかを、模試や演習などを利用して確認しましょう。また、昼食時の気持ちの切り替えも重要となります。

優先順位をつけて問題を解く

時間を有効に使うためには、問題を解く順番が大切。解き始める前に設問全体を眺め、確実に解ける自信のある設問から解き始めましょう。

※左の表で、各教科の試験時間をしっかり押さえておこう。

自分の解答を必ず控えておく

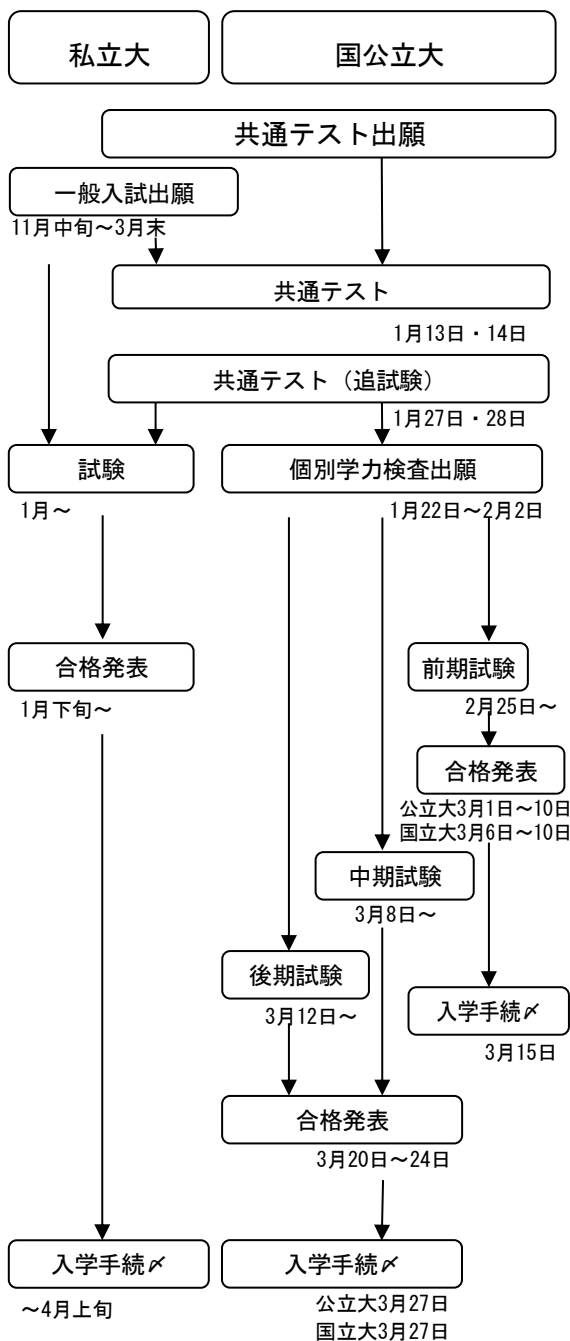
個別学力検査の出願は、大学入学共通テストの自己採点結果をもとに決定することになります。自己採点を正確に行うため、受験中は解答番号を問題冊子に必ず控えておきましょう。

1点も無駄にしないマーク記入ルール

- わからない設問があっても、とにかくすべての設問にマークすること
- 訂正をする際には、跡が残らないよう消しゴムで完全に消すこと
- 1つの設問に2個以上のマークをしていないかを確認すること
- 「記入欄のズレ」などはないか、問題冊子と突き合わせて確認すること

国公立大・私立大の入試本番に向けて

●入試スケジュール (2024年度入試) ●



国公立大個別学力検査について

～最後まであきらめないことが合格につながる～

一般選抜の場合、新潟県立大など一部の大学を除くと「前期日程」「中期日程」「後期日程」の組み合わせで最大3校の受験が可能です。しかし、前期日程で合格して入学手続きを取ると、他の中・後期日程を受験していても合格対象にはならないため、第1志望校は前期日程で受験することが一般的です。

後期日程については、定員が少ないため志願倍率が高くなる傾向にありますが、実際は前期日程合格者が受験しないことも多いので、合格のチャンスは決して小さくはありません。また、前期日程から後期日程の間は2週間以上もあり、弱点分野の克服なども可能です。

特に国公立大を志望している場合は、私立大合格だけで安心せずに、最後まで国公立大をめざすことが重要です。最後まであきらめないことが希望進路実現への近道なのです。

私立大入試について

～情報収集が希望進路実現のカギ～

私立大については、2月以降に出願できたり、地方入試(学外試験)や方式別入試など、様々な入試のスタイルがあります。情報収集をこまめに行うことが希望進路実現につながります。

いざというときに困らないように、私立大入試スタイルの主な例をご紹介します。

- 試験日自由選択制…同一学部・学科で、試験日を2日以上設定し、受験生の都合のよい日に受験できる制度。
- 方式別入試…同一学部・学科で、入試科目や配点などが異なる複数の選抜方法から選択して受験できる制度。
- 全学部統一入試…学部ごとの試験日のほかに、全学部の入試を同一日に一斉に行う制度。
- 地方入試(学外試験)…大学の所在地以外の地域に試験会場を設けて行われる入試。

表面のスケジュールからも明らかなように、1月以降はハードな日程になります。今回の三者面談をもとに受験プランについて、事前に十分話し合っておいてください。その際、プランに無理がないか注意してください。なお、受験する可能性のある大学の募集要項を12月中には取り寄せておいてください。

大学進学には経済的な負担も伴います。受験料のほかに、交通費・宿泊費などが発生しますし、合格が決まれば入学金や授業料、寮やアパート費用、私立大では一時金や寄付金などについても考えなければなりません。「どんな大学を、何校受験するのか」といった受験計画については、親子で十分話し合っておいてください。

「先輩」保護者からのアドバイス 保護者が受験に向きあう時

ベネッセの資料より、以前にお子さんの受験を経験された保護者の方の「受験生への接し方」を紹介します。

子供が「SOS」を出したときに、
周りの人みんなで支えました。 埼玉県 K.N さん

共通テストの結果がよくなかったのか、試験後は落ち込んでいました。数日間は勉強が手につかなかったみたいです。いつもは明るい子なのに、このままでは合格は危ないと思い、単身赴任の父親や大学生のいとこなどに連絡して、電話で励ましてやってくれないかとお願いしてみました。父親は「失敗を恐れず気楽にやればいいじゃないか」と言ってくれました。いとこは「合格したら一緒に旅行に行こうよ」と言って、やる気にさせてくれたみたいです。親の力では勉強面のサポートはほとんどできませんが、精神的な面では支えられる力は大きいはず。普段はできるだけ平常心を装い、子どもが「SOS」を出したら、周りの人たちが支えてあげればいいのか。

食事を通して親子のコミュニケーションを
図りました。 兵庫県 A.O さん

息子は12月の初めに夜型から朝型に切り替えました。私も息子が生活のペースをつかみやすいように、毎日の食事を決まった時間に作っていました。私が息子の受験のために特別にしてあげたことは、食事作りくらいですね。受験が迫ってくると、風邪をひかないように栄養価の高いものをとを考えながら作っていました。そのせいか受験も順調だったようです。息子も「僕が合格できたのもお母さんのご飯のお陰だな」と言ってくれました。食事のことでよかったと思うのは、それにより息子とのコミュニケーションが図れたことです。受験勉強が忙しくなってくると子どもと話す時間は少なくなってしまうので、食事時には努めて話をするようにしましたが、お互いに考えていることがわかり合えたり、息子も会話することでよい息抜きになっていたようです。

常に親子で行動したことが
よい息抜きに。 兵庫県 H.S さん

私と娘は小さいころからウマが合うというか、よく一緒に行動していました。受験勉強の参考になればと私の経験を聞かせたりして、アドバイザー役を務めたこともあります。父親は地元の大学を勧めたのですが、娘は東京にある難関大を志望したので考えがぶつかることに。そこで「お父さんを説得するには成績を上げるしかないわよ」とアドバイスすると、目の色を変えて勉強するようになりました。でも、頑張り過ぎて精神的に余裕をなくしてはいけないと思い、リラックスさせることにも努めました。共通テストが終わった日は喫茶店で会話を楽しみましたし、試験の前と一緒に買い物に行ったりもしました。また、大学の下見にも同行し、受験当日も門までついて行きました。親子で一緒に行動することで娘には励みになり、よい息抜きになったようです。

子供がやりたいように
見守ってあげました。 大阪府 S.I さん

すべて本人のペースに任せることにしていました。親は心配してつい口を出したくなりますが、じっとこらえるようにしたのです。こうした親の態度が子どもに合ったのか、成績は常に安定していました。年が明けてからも家庭環境を少しでもいい方に保つこと、いつも優しいまなざしで接することを心がけていました。でも受験が近づいてくると、子どもはなぜか携帯電話で友達と電話ばかり。私も気になって、つい「それでいいの？」と言ってしまいましたが、本人にとってはそれが最大の息抜きになっていたようでした。電話をしていないときは、頭を切り替えてじっと机に向かっていたから。結果的には、それが一番よかったみたいです。受験は本人の頑張りにかかっていますが、親は信頼して見守ってあげることが何よりも大事だと思います。

(ベネッセ資料より) 入試に関する Q&A

いよいよ入試本番間近です。とは言っても初めての入試には耳慣れない用語や疑問も多いものです。

そこで、入試に関する疑問をQ&A形式で紹介します。

Q. 1

もし事故や病気などで共通テストが受験できなくなったら？

A. 1

事故や病気などのアクシデントが起きた場合は、受験生本人または代理人が、速やかに「受験票」に記載されている「問い合わせ大学」に行き、申請すれば追試験を受けることができます。申請の受付時間、詳しい方法等については、受験票・写真票等と一緒に送付されている「受験上の注意」に明記されています。なお、2024年度大学入学共通テストの追試験は1月27日(土)・28日(日)に実施予定。

Q. 2

共通テストの得点調整とは？

A. 2

共通テスト終了後、大学入試センターでは、各教科で選択科目ごとに平均点を算出する。その平均点に原則として20点以上の差が生じ、それが試験問題の難易差に基づくものと認められた場合には、平均点が低い科目を受験した受験生が不利にならないよう、得点差を調整する。なお、2024年度共通テストの得点調整実施の有無の発表は1月19日(金)の予定。

Q. 3

国公立大の出願はいつ行うのか？

A. 3

国公立大の出願は1月22日(月)～2月2日(金)の間に行う(一部異なる日程の大学があります)。出願する可能性のある大学の願書は、当然それまでに取り寄せておかなければならないので、早めの準備が必要である。

また、出願校決定には、自己採点結果が唯一の手がかりとなる。確実な出願校決定のためには正確に自己採点することが重要である。

Q. 4

「志願倍率」、「実質倍率」の違いとは？

A. 4

ひと口に倍率といっても「志願倍率」と「実質倍率」の2種類がある。「志願倍率」とは、「志願者数÷募集人員」のことで、志願者とは実際に大学に出願した人のことだ。「志願倍率」では、その大学の人気度がわかる。一方「実質倍率」は、「受験者数÷合格者数」のことで、実際の試験での競争率がわかる数字となっている。

出願はしたものの、試験当日までに第1志望校の合格が決まった受験生などは受験しない場合があり、「志願者数と受験者数が違う」といったことが起こる。また、入学辞退者を見込む大学は、募集人員よりも多めに合格者を発表するため「募集人員と合格者数が違う」ということも起こる。このように「志願倍率」と「実質倍率」では数値も意味も異なるので、単に「倍率」といった場合には、どちらの倍率を意味するのか注意が必要である。

Q. 5

大学は何校まで出願できるか？

A. 5

国公立大一般選抜の場合、前期・中期・後期の各日程から1つずつ、最大3つの大学・学部への出願が可能である(一部異なる日程の大学があります)。また、私立大などは、試験日程が重ならなければ出願に制限はない。第1志望校を中心に、うまくスケジュールを立てて出願校を考えたい。

Q. 6

「二段階選抜」とは？

A. 6

一部の国公立大で行われる選抜方法のこと。個別学力検査の前に共通テストの成績などにより第一段階選抜が行われ、合格者のみが個別学力検査を受験することができる。志望校が二段階選抜を行うかどうか確認する必要がある。